

新入園児の保育衛生

東京市兒童掛長 醫學博士 廣 瀨 興

新年度開園に當り、一般園児の身體検査を特に行ふべきは勿論であるが、新入園児の身體検査は特に嚴重に行ひ、在園児への傳染、悪影響を防ぎ且つ新入園児の將來の保健、健康増進の方針を樹立するに必要である。身體検査に當つては種々の注意を要するであらふが特に次の如きは肝要なる事項である。

(イ) 重い百日咳を経過せる者

之は普通の経過をこつたものは別に何等の注意も要せぬが重症で肺炎等を併發せるものはよく結核等の後發症を殘し、一見普通児に變らぬが斯くの如き幼児が團體生活等に於て幾分無理をするに始めて潜伏せる結核症狀を現すことがある。

(ロ) 平素微熱を出すこゝある者

平素運動後、食後、夕刻等に三十七度こか三十七度一分

二分位の微熱を發する小兒は入園は望しくない。之は新入園児の體温を數日測定し家庭にても氣付かざる中に發見するこゝがある。

(ハ) 一見體質の虛弱者

顔色蒼白、一見虛弱の小兒は特に潜伏結核の有無を確かめねばならぬ。體温の一週間連續測定、レントゲン胸部検査も肝要であらう。若し肺門淋巴腺腫脹の如きものがあつて所謂虛弱兒であつても別に發熱もせず、食慾もあり、元氣であるなれば平素注意して保育するなれば却つて強健なる場合がある。

適當の規則正しい運動、食事等が効果を來すのであらう。

(ニ) 平素偏食のあるもの

食餌に好き嫌ひの習慣のあるものは特に注意を要する。最も氣付くのは味噌汁を嫌ふ小兒であるが多くは體質弱く

神經過敏である。食餌の偏食は大人と異つてこの年齢期の發育に重要な影響を及して、過根を將來に残すものである。

獸肉類、魚肉類、味噌汁等の蛋白質系統の榮養素を嫌ふものゝ方に虚弱體質のものが多い。之は蛋白質は主として身

榮養品の合理的配合

大 鶏 卵 牛 魚 獸 豆 豆 白 乳 肉 類	味 大 昆 あ ひ め 干 干 根 根 ら じ ざ 海 ま 肉 類 噌 葉 布 め き し 老 め 結	れ 椎 に 味 海 昆 百 い た ご あ 貝 な す ぎ 茸 ら 噌 苔 布 合 し し め り 紐 こ め	そ 立 わ ご 戮 雲 卵 ご 筋 煮 花 ば 米 め ま 丹 黄 め 子 干 錫	甘 小 大 鶏 蠶 馬 澱 麵 パ 米 藜 麥 麥 豆 豆 鈴 粉 類 ン	果 乾 砂 セ リ 蜂 糖 砂 物 果 漬 蜜 蜜 糖	菜 落 胡 鹽 豚 ク リ 巴 種 花 麻 豚 脂 ー ム タ 油 生 油 肉 脂	(1) 蛋白質	(2) 鐵 物 質	(3) 含水炭素	(4) 脂肪	(5) ヴ イ タ ミ ン	(一) 筋肉骨齒構成其他體組織構成源の食物	(二) 勢力源の食物	(三) 生理作用調和源の食物
							カルシウム	鐵	1	2	A	B	C	D

體組織を構成する養素であり、猶、之等の食品は必要のビタミンA、Dを同伴してゐるものが多いからである。

之等の小兒には家庭と連絡して現在食品の中好むもの例へば混ぜ御飯の中に挽き肉と魚肉のオボロミかを混入せしめ、幼稚園にてダマシツスカシツして與へるときは旬日ならずして矯正せられるのである。

好き嫌ひは元來、精神的のものであつて、大人は牛肉を見て食欲を催すのが普通であるが小兒は直ぐ野原や、牛小屋の中あの獐猛な牛を思ひ出すのである。又形、色、臭ひに敏感であるから注意して作りかへて與へて見るのも必要である。

幼稚園、託兒所時代の一般小兒の身體検査上多數の虚弱兒を發見するがその大部分は上中下全階級を通じて、偏食兒の多いことである。下層階級であれば母親の無智のため、日々、小使錢を多額に與へ菓子類を攝つて必要量の榮養食品を攝らず遂に偏食する場合、上流であればある様に我儘や下女まかせのためか甚しい好き嫌ひを來して居るものである。

この時期の偏食を矯正し得たことすれば幼稚園保育の最大の收穫であつたこと云つて過言でない。次に合理的の榮養品の組み合表を上げて献立の參考とせしやう。之等の成分の一部を缺乏してもそれに相應した疾病を來すものである。

(ホ) 眼の充血を來し易き者

トラホームを患える小兒も家庭で案外見逃し且つ醫師の検査の時も極く輕微のものや、結膜の部位によつて發見せられなかつたものがある。入園生活によつて慢性のものが現れて來るから注意を要す。便所の手拭は特に清潔にした。猶、一般小兒に對してもホコリの甚しき日の保育後、洗眼(二%硼酸水にビタ〜に浸した脱脂綿にてよく拭ふ程度にても效がある)するはよいことである。

幼兒の近視、色盲は早く發見せねばならない。知能發育に重要な影響を及すものである。

(ハ) 鼻孔のタ〜れた者

一般に小兒は鼻汁分泌多く所謂鼻タラシであるが殊に扁桃腺やアデノイドのものに甚しく、鼻孔の入口が常にタ〜レ、不隨意に指尖を鼻孔に入れたり、爪をかんだりする習

慣のものによく蛔蟲等の腸寄生蟲を有するものがあるから
 検便を要する。驅蟲には蛔蟲にはサントニン、マクニン等
 であるが蟯蟲にはこれ等藥品の内服と同時に爪をよく切つ
 て清潔にし、二倍の食醋水の灌腸(約一週間就寢前連續持
 長のこき)、灰白軟膏の肛門塗布を行はねばならぬ。蟯蟲保
 有兒は他兒に易く傳染せしめるものであるから等閑に附し
 てはならない。又肝油の如きものを服用せしめるに蛔蟲、
 十二指腸蟲等の感染に對して抵抗力を強める云はれてゐ
 る。之はヴェタミンAの效力である。

(ト) 齶齒のある者

幼兒期六歲頃(俗に六歲臼齒)稱する第一小臼齒が発生
 するもので之は永久齒であるから特に大切にすべきでその
 生齒の方向にも注意を拂つてやらねばならない。猶、乳齒
 はこの時期に抜け更る故、適當の時に殘存乳齒を抜き、次
 に生ずる永久齒の發生をさまざまに注意すること。食
 餌に新鮮の野菜、貝、エビ、海藻、鱈、鯨等が必要でこの
 頃の食餌が將來、齒の保健に特に關係を持つてゐるもの
 ある。

本邦小兒發育標準値

年 齡	身長(櫃)		體重(斤)		頭圍(櫃)		胸圍(櫃)	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1½年(1年1日以上—2年迄の平均)	77.7	76.2	10.11	9.46	46.8	45.4	46.7	45.5
2½年(1½年及2½年の平均値の平均)	81.3	80.2	11.02	10.40	47.3	46.0	47.6	46.2
2½年(均以下之ニ準ス)	85.0	84.0	11.92	11.35	47.8	46.7	48.4	47.0
3	88.5	87.2	12.73	12.16	48.2	47.2	49.3	48.0
3½	91.9	90.5	13.55	12.97	48.7	47.6	50.1	48.8
4	94.7	93.6	14.27	13.73	48.9	48.2	51.1	49.4
4½	97.5	96.7	14.99	14.50	49.2	48.6	52.0	50.0
5	100.3	99.5	15.65	15.21	49.6	49.0	52.9	50.7
5½	103.2	102.4	16.32	15.92	50.0	49.4	53.8	51.4
6	105.6	104.6	17.05	16.56	50.3	49.6	53.9	52.0
6½	108.0	106.9	17.80	17.20	50.6	49.8	54.1	52.5
7	110.4	109.3	18.70	18.05	50.8	50.1	55.1	53.4
7½	112.8	111.6	19.60	18.90	50.9	50.2	56.1	54.2
8	115.3	113.9	20.65	19.85	51.1	50.4	57.1	55.1

(壬) 順調なる發育

小兒の體格の大小は先天的のものがあからそれのみにて體質、發育の如何は定められぬもので日々の増加、月々の發育が大切の目安となる。體重、身長、胸圍、出來れば坐高の測定も是非必要である。日本の幼兒期の發育標準値(東大小兒科編)は次の如くで、月々の増加をよく參考するこゝが大切である。

猶、急に御行儀の悪くなつた兒(足をなげ出したり、體をゆすぶつたり、落付がない兒に小兒舞蹈病の初期を發見した等の場合もある。要するに以上は開園期に際しての一般注意であるが入園當初、個々の小兒に付いて周到の注意を拂ひ家庭と連絡をこつて何等かの身體上の變化の有無に注意してその原因を確かめ將來の保健上の方針を樹てるこゝが最も肝要である(終り)。

第七回乳幼兒愛護週間

逐年盛大になり行く乳幼兒愛護週間は今年も第七回。五月二日から八日にわたつて催されます。本年も大いに本旨の普及徹底を期し意義あらしめたいものであります。

少子部祭

日本童話聯盟保育研究部主催

日比谷公園内市政講堂において

四月二十三日午前九時より十時半迄

「お子を集めてまるれ」に仰せられた雄略天皇のお言葉を、養蠶は思はずに、町の子供を集めて來たさいふ「すがる」、そのために天子様から少子部名を賜つてその子達を育てた、さいふ話は軽い笑ひを以て讀み來つたものでありますが、これは彼の兒童愛の然らしむるこゝろ、東洋の古き大保育家なりとて、これが丁度今の陽春四月の出來事に當るのでこの祭典が催されます。